

Rotary Club of AMA

weekly report.



2016~2017年度 国際ロータリーテーマ
人類に奉仕するロータリー

事務所 〒453-0015 名古屋市中村区椿町17番16号 丸元ビル
TEL(052)451-6617 FAX(052)451-6710 e-mail: kk01-ama@eos.ocn.ne.jp



2016~2017年度
RI会長 ジョン F. ジャーム
第2760地区ガバナー 服部 良男
会長 篠田 正志
副会長 横井 久雄
幹事 黒川 元則

例会日 毎週月曜
例会場 名鉄グランドホテル
区域 愛知県・海部郡内3町村と2市

【会報委員会】
板津 和博・北澤 英一・柏子見 昌敏
熊沢 登・谷川 浩司・山田 幸治

2017年4月24日（晴れ） 第2週 第2191回例会

Song ” それでこそロータリー”

Visitor 佐藤敬治君、猪飼充利君（津島RC）

Attendance

会員	78名	欠席	11名	出席率	76.19%
----	-----	----	-----	-----	--------

President Time 篠田正志 会長



先程ご紹介がありました、津島RCから佐藤次期会長と猪飼次期幹事がお見えになって見えます。心より歓迎申し上げます。後程ご挨拶を頂きますのでよろしくをお願いします。

先週の木・金・土曜の3日間、台湾汐止RCの創立35周年記念式典に出席してまいりました。いつもの様に熱烈な歓迎を受け、観光やゴルフ場、そして食事の手配等身に余る心遣いをして頂き、有意義で、かつ感動、感激した、まさしく充実した3日間でありました。以下、汐止RCにて2回挨拶をしてきましたので紹介させていただきます。

汐止RC創立35周年記念式典挨拶

国際ロータリー第3520地区汐止ロータリークラブの王文祥会長はじめ会員の皆様、この度は創立35周年、誠におめでとうございます。あまロータリークラブ全会員を代表し

て心よりお祝い申し上げますと共に、この様な盛大な祝賀の席にお招き頂きましたことに感謝申し上げます。貴クラブと奉仕の精神を共にしたのが1989年3月、早28年という歳月が経ちました。この間、国際奉仕団体の姉妹クラブとして、超我的奉仕の精神のもと、様々な活動を通して親睦と友好を深めてまいりました。28年間、私達クラブ会員の訪問時は温かく素晴らしいおもてなしを頂き、また貴クラブからも多くの皆様のご訪問を頂いておりますことに、心より厚くお礼申し上げます。また6年前の2011年3月11日、東日本大震災で日本は未曾有の大災害を受けました。その際、台湾の皆様そして汐止ロータリークラブの皆様より多大なご支援を頂きましたことは、まだ記憶に新しいものです。被災地は今なお復興途中ではありますが、確実に前へ進んでいるのは皆様方の援助あってこそと思っております。この場をお借り致しまして重ねて感謝申し上げます。

最後になりますが、これからも貴クラブの一層のご発展と会員各位の皆様のご健勝・ご多幸、そして両クラブの友情が永遠に続きますことを祈念しまして、お祝いの言葉と

Today	5月 8日（第2192回）
担当	後藤 眞 青少年奉仕委員長
演題	卓話「近年の青少年非行の傾向と 少年教育の現状」 豊ヶ岡学園 次長 東別府修二氏
Next Week	5月15日（第2193回）
担当	山本輝幸 会場委員長
演題	夜間友愛例会
於	名鉄GH 11F 18:00点鐘 (お昼の例会振替)

させていただきます。

汐止RC歓迎パーティ挨拶

王文祥会長をはじめとする、汐止ロータリークラブの皆様、
こんばんは。昨日もお話しさせていただきましたが、この度は
創立35周年を迎えられ、心よりお慶び申し上げます。この
35年間、長きに渡り、歴史と伝統ある素晴らしいロータリー
クラブへと育て、継承、発展させて来られました。歴代
会長さん始め会員の皆様方に、新ためて敬意を表したいと
思います。記念すべき節目の年に、世界社会奉仕（WCS）
に共に参加出来ました事、直接お祝いを申し上げます
事、そしてこうして皆さまとお会いできました事、を大変
光栄に感じております。また、今回も観光やゴルフ場の手
配をはじめとする熱心な対応、素晴らしい歓迎のおもてな
しに感謝ばかりでございます。一同大変感激しております。
誠にありがとうございました。昨今、世界情勢は、目まぐ
るしく変化しております。そのような中で、世界の友好・
平和の実現の為、ロータリーの奉仕の精神をもって、様々
な立場の方々へ届け、人と人の絆を深め、そしてお互いに
理解し、助け合う良き関係をいつまでも築かなければと感
じております。これを機に、両クラブの友好が益々深まる
ことを願ってやみません。そして貴クラブのさらなる発展
をお祈りいたしまして、お祝いとお礼の挨拶とさせていただきます。
ありがとうございました。

この様な挨拶をして総勢10名、親睦と友好を深め楽しん
で帰ってきました。内容については会報で、中西国際委員
長より報告させていただきます。

本日はクラブアッセンブリーです。立松年度における地
区研修、協議会の報告です。各委員長さん方、よろしくお
願いします。

Secretary Report

黒川元則 幹事

- 1 次週5月1日（月）は定款による休会です。次回例会は
5月8日（月）になります。
- 2 第11回定例理事会のご案内。
日時 5月8日（月）18:00
場所 晁隆房
- 3 第6回次期準備理事会のご案内
日時 5月8日（月）13:45
場所 アイリス

4 事務局GWお休みのお願い

4月29日（土）～5月7日（日）



津島RCより佐藤敬治次期会長、猪飼充利次期幹事

ニ コ ボ ッ ク ス

ご投函有り難うございます

佐藤敬治君、猪飼充利君（津島RC）

ご挨拶に伺いました。本年10月14日に65周年記念式
典を開催します。次年度、よろしくお願いいたします。

篠田正志 会長

津島RCの次期会長の佐藤敬治君、次期幹事の猪飼充
利君、ようこそお越し下さいました。心より歓迎申し
あげます。

地区研修・協議会出席の皆様、お疲れ様でした。本日
の発表、よろしくお願い致します。

汐止RC創立35周年記念式典参加の皆様、お疲れ様で
した。中西国際奉仕委員長、色々と有り難うございま
した。

横井久雄 副会長

津島RC佐藤次期会長、猪飼次期幹事、ようこそお越
し下さいました。

地区研修・協議会報告、よろしくお願い致します。

台湾・汐止RC35周年式典出席の方、お疲れ様でした。

黒川元則 幹事

汐止35周年式典参加の皆様、お疲れ様でした。中西国
際奉仕委員長、有り難うございました。

津島RC次期会長・幹事、ようこそお越し下さいまし
た。

高山 敏君

汐止RC式典にご参加の皆様、大変お疲れ様でした。
中西国際奉仕委員長、色々とお世話になりました。
先日のゴルフ部日曜会にご出席の皆さん、お疲れ様でした。最高の天気で、楽しくプレーが出来ました。

児玉憲之君

次年度委員長会議にご出席の皆様、お疲れ様です。
篠田正志会長、横井副会長、有り難うございました。
次年度地区研修・協議会に参加しました。大変勉強になりました。

中西 巧君

汐止RC創立35周年記念式典にご参加頂きました皆様、お疲れ様でした。皆様のご協力を頂き、無事行事を終えることが出来ました。今後も国際奉仕委員会にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

伊藤英毅君

先週金山のホールのコンサートを聴きにきて頂いた皆様、有り難うございました。

立松絹久君

津島RC佐藤会長エレクト、猪飼副幹事をお迎えして。

東海広光君

汐止RC35周年記念式典参加の皆様、お疲れ様でした。
クラブ総動員での熱烈大歓迎にただただ感謝でございます。我がクラブの50周年には、50名の会員さんとご夫人にご出席頂きますことを約束して参りました。
今年度最高の天気と最高の同伴者に恵まれ、あま日曜会でバスグロ優勝いたしました。参加の皆様、お疲れ様でした。そして有り難うございました。

山田幸治君

4月20日、NHKのマイビデオで佐屋川の桜を放映してくれました。この2年間で13回です。13回のビデオを1枚のブルーレイディスクに入れて、パソコンで編集して機器に入れたら、ブルーレイディスクの機器が2台とも故障してしまいました。

後藤 眞君

京都でドイツ人ご夫妻とレストランでたまたまご一緒。
ビール・ソーセージでなく、ワインとステーキでした。
日本1ヶ月の旅の途中の一時でした。

加藤憲治君

本日は津島RC次期佐藤会長・猪飼幹事をお迎えして。

昨日愛西市長選挙、無事終了し、予想通りの結果でした。

北野庸夫君

5月は例会をお休みしますが、6月よりゴルフも復帰します。

田中正博君

地区研修・協議会に行ってきた。昼食会で食べ過ぎてしまいました。伊藤正征君と話がはずみまして！！

山田尊久君

池崎晴美君、金山ホールでの合唱発表会を最後まで聴いていただき、有り難う。第2部のテノール、井原義則の歌声にはしびれましたね。

家田安啓君

同じバンカーで11打打ってしまいました。最高です。

池崎晴美君

先日4月20日に行われたチャリティーコンサートに行って参りました。コール・スイーツの皆さんの素晴らしい歌声に感動しました。有り難うございました。

板津和博君

地区研修・協議会にご参加の皆様、お疲れ様でした。

岩島裕芳君

ニコボックス、頑張り！

宮下忠克君

例会に昼飯だけ食べにくる自分を「これでいいのか？」と戒めています。

水野 眞君

チャリティーコーラスお疲れ様でした。高齢の家内が仲間に入れていただき、何時も感謝しています。

大竹敬一君

あまRC日曜ゴルフ会、ダブルバリアで2位でした。「神様は見えてくれる」

田邊正紀君

地区研修・協議会発表の皆様、よろしくお願いいたします。

臼井幹裕君

2017～18年度の第1回委員長会議を早退しました。ごめんなさい。でもやる気は出てきました。

山田幹夫君

津島RC佐藤次期会長。猪飼次期幹事をお招きして。

合 計 72,000円

第1分科会 田邊正紀君



テーマ ～クラブの持続的発展のために～

ガバナーエレクト 神野重行
単年度運営がロータリーの良いところであるが、それだけでは心配な部分もある。通常

の企業では、毎年トップが変わることはない。各クラブでも自分流のクラブの強み・弱みを分析していただき、大きな方向性を検討してもらいたい。会長は、自分の年をうまく運営していくことを考えがちだが、今後クラブを担っていく若いメンバーと一緒に、これからどんなクラブを作っていきたいか中長期的な目標を練るクラブ戦略委員会を立ち上げてもらいたい。名称はこだわらないので、「未来の夢委員会」「長期的なビジョン策定委員会」などでもよい。

ロータリーの何に魅力を感じて入会するのか？バッジをつけて仲間と例会を楽しむだけでは真のロータリアンではない。奉仕をしなければならない。しかし、最近は、職業分類が撤廃され、家庭の主婦でも、社会の中で自分の役割を持っていて、社会に奉仕しようとする人であれば誰でもロータリアンになれる。そんな人も活躍できるロータリーになれば、魅力あるロータリーになるのではないか。

会員増強委員会 光岡新吾

1年で51名を入会させた会員増強の神様が紹介された。51名入会させるために約250名に声をかけたとのことである。入会者を退会させないための努力として、例会後のお茶会を開催したり、他のクラブの例会でのメイキャップを推奨し、他クラブの例会を見て、自クラブの良さを再認識してもらったとのことである。入会后3年未満で退会する人が15%程度いるので、この人たちの退会を防止することが急務である。会長としては、純増3%などといわず大きな目標を立てていただきたい。会員増強に対する会長の思いをどう会員に浸透させるか。会員増強に積極的な人をどう生かし、周りの人をどのようにその人に共感させていくかが大切であるが、会員増強に消極的な会員の意識を変えることも必要である。

会員増強がうまくいっているクラブと自分のクラブを比

較してみるとよい。会員増強がうまくいっているクラブは、どのような例会運営をしているか、どんな卓話者を呼んでいるか、例会の回数はどうなっているかなども調査してみるとよい。退会防止のためには、健康管理のための医師、トラブル解決のための弁護士を含めた土業の方を入れることも一考に値する。退会者の4割が6月に集中しているので、大会が予想される人には今の時期に積極的に声掛けをしていくことが肝要である。経験年数が長い人でも、派閥が嫌だ、飽きてきたという人がいるので、指導的役割を与えるなどして楽しみを与えることが必要である。

会長は、例会での5分間の話に命を懸けるつもりでというのがガバナー方針である。会長は、退会防止のためにも、毎回会長の話を聞きたいと思わせる努力をしてほしいとのことである。

第2分科会 北島奈穂子君



第二分区のテーマ「ロータリーの楽しい過ごし方」

大須賀憲太次期ガバナー補佐は「地区テーマとクラブ運営」について【親睦から始まる奉仕】クラブの活性化には

「何でも楽しんで行う事」「例会を楽しむ」「楽しい例会の企画」が欠かせないというお話がございました。続いて、平松清美次期研修実行委員からは「ガバナー補佐訪問で感激した各クラブの楽しい例会づくりの取り組み紹介」を頂きました。

1. あまRC・・・12の趣味の会の存在、そして趣味の会の中には家族、子供会、地域の方と一緒に楽しむ機会を設けている事。会員の友人・家族なども一緒に活動を行っている事について紹介。
2. 一宮北RC・・・例会の工夫と会員増強に関する取り組みとして、会員増強委員会が演壇で報告発表を行う機会を持ち、具体的な取り組みについて話す時間を設けている事。
3. 稲沢RC・・・「声を掛け合い独りぼっちを作らない」誕生日の方の3分間スピーチを実施など、これらの工夫に感激したとの紹介をされました

村井ガバナーノミニーは「親睦の先に奉仕あり」「驚きと発見、笑い」が大切である。命を懸けた会長あいさつに命を懸け聞く事、ドナルド・カーター事件のお話から、皆で

歌を歌い、例会で語り合い発想の交換で磨き上げられる機会こそが貴重な時間であり楽しい例会へとつながるとの言葉を頂きました。親睦を深め高め、心の友になってこそ、楽しくすばらしい奉仕になり、職業奉仕・社会奉仕・青少年への奉仕を行う事ができるという事です。「ロータリーとはどんな団体ですか?」と聞かれるのではなく、「ロータリークラブは何をしている団体ですか?」と聞かれ、応えられるように。そして「各クラブの代表する活動は何ですか?」という問いに応えられるようなクラブ活動が行われる事が大切であると繰り返し話がありました。

欠かせないのは「楽しい例会」。楽しい例会とは、「よき話を聞き」、「よき食事をとり」、「よき雰囲気での例会」である事。和気あいあいとした雰囲気の中の食事と自己研鑽につながる会話、コミュニケーションと同時に品位と礼儀を持った行動、卓話中は一生懸命話す人の言葉を一生懸命聞く。そうした和気あいあいと共に礼儀正しく秩序ある行動を行う事が大切だというお話を頂戴しました

会員増強を掲げる中、前年度323名の会員増に対し333名の退会があったそうです。短い期間での退会理由として「思っていたものと違う」「年だから」「面白くないから」という残念な回答が見受けられたとのことで、防げたものが沢山存在すると共に、地域に奉仕活動されている方がいるものの、RCの活動を知らないから入会していない、声をかけられていないから入会していないなどという言葉もあるとの事です。例会の魅力アップを目指し行動に移すこと、変化する事が10年後のRCの維持と活性化を行いたいと。親睦を高めるクラブ活動を工夫して行い、行動におこし地域の方々への奉仕活動を楽しんで行いましょうという事です。一番印象的だったのは、ロータリーは「ローテーション」が由来との事で勉強になりました。

第3分科会 神田康史君



1. 第3分科会においては、「地区公共イメージ向上委員会」の基本方針説明があり、RCの現状把握・分析の概略説明後、地区クラブ会員へ「公共イメージ向上」に関する情報提供

と協力依頼の継続のお願いがありました。これは、「RCは何をしているのか?」が一般社会に十分浸透していない現

実を見据えて、社会的認知向上への対策と感じました。

2. プレス・リリースとプレスセミナーについての言及があり、マスコミ対応専任次期公共イメージ向上副委員長より、地区内クラブの公益事業と地区委員会活動の定期的プレス・リリース発信により、RC活動の社会的認知度増大を図る旨の説明がありました。

3. さらに続けてマイロータリー登録推進とその活用方法や「ロータリーの友」への投稿、並びに地区史編纂に関しての協力依頼がありました。

私にとっては、「マイロータリーの登録」や「マイロータリーのリワードの寄付」に関してなど初めて耳にする言葉もあり、不勉強を痛感しました。

第4分科会 藤田隆志君

代読 田邊正紀君

第4分科会は、2760地区の国際奉仕委員会と社会奉仕委員会の2部門合同で開催されました。社会奉仕委員会には、社会奉仕部門に加え、環境保全部門、あまRCには無いですがRCC部門(Rotary Community Corps-ロータリー地域社会共同隊)の3部門があり、それぞれ専属の担当副委員長からお話がありました。

社会奉仕活動について

1. 県(自治体)の情報を伝えていく。

例: 地域防災活動や、あいち生物多様性戦略2020に関すること等。

2. 各クラブの活動状況の情報収集を行い各クラブへ発信するとのこと。

例: 名古屋中RCでは3月に若宮大通のデザイントイレ前の防犯カメラを設置した。

また、「ロータリーの友」担当者より、2760地区のホームページを活用してほしいとの要望がありました。具体的には、各クラブでの奉仕活動の具体例を写真付きで送り、実施している奉仕活動をアピールしてほしい。これらが、国際ロータリー理事会が定めた3つの戦略的優先事項のうちの一つ「ロータリー公共イメージと認知度の向上」につながる。

国際奉仕活動について、グローバル補助金事業について説明があり、今年度は地区としてネパールでの母子の健康に関する事業を1,000万円かけて実施、その経過及び結果

報告は、随時2760地区国際奉仕委員会のフェイスブックで発信します。WWFの収益金に基づいた次年度事業はフィリピンで実施予定。また、質疑応答では、神野ガバナエレクトからロータリアン1人1本、木を植えようとの話があったのをうけて社会奉仕委員会から発信します。とのことであった。皆で情報共有して、各クラブが新しい取り組みを行い、その活動成果を世の中へ積極的に発信していきましょう。尚、今日は、急にブータン王国へ下見に行くことになり、直接報告できず申し訳ありませんでした。

第5分科会 田中正博君



第5分科会に出席しました職業奉仕委員長の田中正博でございます。11時30分に会場入りしまして、友愛広場に立食の昼食をいただきまして、御鯨、きしめん、カレー、

その他といただきすぎまして、本会議場でのご挨拶は居眠りしていてあまり聞いていませんでしたが、一つは特別講演の高野孫左衛門さん、(甲府ロータリークラブの方) IMの時も講演された方でございますが、ロータリーの認知度、存在感の話の中で先進国の方が認知度が薄い、発展途上国の方が厚いそうです。意外な現象と思いました。もういろいろ話はありますが、他の委員会の方が発表があると思いますので、省かせて頂きます。14時50分から16時30分まで分科会に分かれまして、協議会に出席しました。分科会は6グループぐらいに分かれて行われました。まず、DVDを見せていただき、5大奉仕の理念と原点を見せていただき、匹田勝久次期地区委員長の挨拶を聞きました。クラブ奉仕活動、社会奉仕活動、国際奉仕活動、新世代奉仕活動はわかり易いが、職業奉仕活動はわかり難いところが多い、職業は自分のため、奉仕は人々のため、と相反することになるわけです。

職業奉仕は、ロータリー全体の活動と一致するものである。ロータリーは倫理運動である。すなわち、職業奉仕も倫理(人が正しく歩む道)です。人を泣かせるような行為はしない。人を欺くこともいけない。非人道的、非社会的行為をしてはいけない。世のため人のために尽くしなさい。と言うのが倫理の教えです。すべての仕事に社会に役立つことに繋がっている。ロータリーの目的は日々の仕

事を通して世の中に貢献するために、奉仕の心を育て向上させ、奉仕とは他人のために何かをすること、他人のニーズを充たすことを自己の責務として行なうことです。

職業奉仕とは、職業を通して社会のニーズをほぼ完全な形で満たせるように努力を重ねるということです。それによって、自己の職業の品位と道徳水準を高め、社会から尊重される存在にすることが出来るのです。大事なことは、ロータリアンは日々の仕事を通して生きる力の根本である自らの道徳的能力を高め、それを社会に反映させることを責務と考えて努力しているということです。ロータリアンは日常の職業活動を通して、自分の職場の従業員、取引先の人達やその関係者、ひいては地域社会の人達の模範となり、生きる力の根源である道徳的能力を向上させることに努めているのです。このような仕事の仕方をロータリーでは職業奉仕と呼んでいます。

職業奉仕活動においては、2760地区の職業奉仕月間に関するアンケートによりますと、職場訪問(見学会)が49点と一番多く、次が卓話例会が38点と職場訪問と卓話例会で80%以上になっています。そのほか優良従業員表彰、その他となっています。グループの協議の中で、近隣の中学校の2年生の学生の職場実習を3日間ぐらいの期間を決めて行ってるクラブが結構多かったです。社会に出る前の体験として一度考えても良い事だと思いました。以上でございます。

第6分科会 岩島裕芳君



久しぶりの壇上です。魚の話をしたいのですが、今日は止めます。

第6分科会に出席してきました。ここは、ロータリー財団の部門です。テーマは「ロータリー財団1011年目を迎えて」でした。「ロータリー財団101年目を迎えて」、なんと安易に決めたテーマかと思いましたが、確かに101年目では気合は入れにくいかもしれません。ロータリー財団には六つの小委員会、資金推進委員会、補助金委員会、ポリオ・プラス/VTI委員会、奨学基金・平和フェロシップ委員会、資金管理委員会、地区学友委員会、があり、全く委員会の名前を聞いただけでもうんざりしました。

1. 資金推進委員会では寄付を募ります。寄付の種類は年次基金、恒久基金とあります。また、ダイナースクラブカードを推奨しています。ここで面白いデータを紹介されたので皆さんに報告します。皆さんは日本の中で過去8年間一番たくさんダイナースカードを利用したのはどのクラブでいくぐらいだと思いますか？因みに2位は東京中央の910万円です。1位はなんと名古屋南クラブの1460万円、2位の東京中央の約1.6倍で断トツでした。ただ、これにはちょっとしたカラクリがあると思います。名古屋南のメンバーが地区の委員会の委員長で毎年その委員会を観光ホテルで開催し、その費用をカードで支払ったと考えられます。あまクラブでも会長がこのカードを持ち、例会費用や家族会、国際大会の費用などを支払ったほうがより貢献できると思います。因みにカード利用金額の0.3%がポリオ撲滅資金になるようです。申込書を買ってきましたので、会長よろしくをお願いします。

2. 補助金委員会では名前のおり、私達クラブに補助金を与えてくれます。地区補助金とグローバル補助金の2種類があります。

3. ポリオ・プラス/VTTT委員会ではポリオ撲滅の支援と職業研修チームの派遣と受入を行います。

4. 奨学基金・平和フェロシップ委員会では奨学金を通じて人材を育てます。フェロシップとは奨学金の意味です。

5. 資金管理委員会は「貰った補助金は一つの通帳で管理しろ」とか「領収書や現場写真などの証拠を確実に残せ」とかうるさい委員会です。

6. 地区学友委員会ではインターアクター、ローターアクター、ライラリアン、青少年交換留学生、米山記念奨学生などの若いファミリーを支援します。ちょっと興味深かったのは学友という職業分類があるそうです。

以上ですが、結構難しく、面倒くさい第6分科会のローター財団でした。

倒されました。本会議では神野ガバナーエレクトによる所信表明を地区方針「今日からのローターリーを楽しもう！」としてローターリーの基本理念を守りつつ、まずは自ら行動することによって、ローターリー活動の意義、楽しさを感じることが大切で、それにより

自らを変え、そして周りの人々の人生に変化をもたらす力になり、奉仕を通じてローターリー活動に楽しみを見出そうとのことでした。

分科会では、私は第7分科会に参加させていただきました。本田次期ガバナー補佐の挨拶で、とにかく自分の委員会のことをよく勉強して好きになって、そして楽しんで欲しい言われました。六鹿次期青少年奉仕委員長からは、活動方針「青少年奉仕活動をより良く理解し実践しよう」として、地区方針のひとつにある、「ローターリーファミリーとの連携強化」のもとで、具体的には「地区やクラブの活動に加わってもらい活気や周囲からの注目を大きくしよう」というものでした。佐藤次期インターアクト委員長からは、インターアクトは地域における奉仕活動を通じて

- ・指導力と人としての高潔さ（リーダーシップ）
- ・他者を助け、他者を尊重することの大事さ（思いやりの心）
- ・個人の責任や懸命に努力する価値観の大切さ（責任感・人間力）
- ・国際理解と親善を推進することの重要性（国際感覚）

を学んでいます。2760地区には、17のインターアクトクラブがあり、募金活動、障害児や高齢者の支援活動、地域の清掃活動等、総勢551名が日々活発にボランティアをしています。西本次期ローターアクト委員長からは、ローターアクトは、その活動はまだ認知度不足、理解不足であり、2760地区では9クラブ122名で国内10番目の規模です。現状の大きな問題として会員増強問題、クラブ存続問題、クラブ運営予算問題を踏まえ、ローターアクトの活動を一人でも多くのロータリアンに伝え「青少年奉仕」という、RIの重要なミッションであることを理解し、支持してもらえるように活動するとの事でした。

竹内次期RYLA委員長からは、RYLAとは、Rotary Youth Leadership Awards（ローターリー青少年指導者養成プログラム）の頭文字をとった略称です。RYLAの大きな特徴として、他の青少年団体リーダーシップアップと違い、ローターリーの理念と同様に人に関心を持ち、相手の身にな

第7分科会 板津和博君

2017-18年度地区研修・協議会に参加させていただきありがとうございました。今回初めての参加で地区大会並みの規模の大きさにまずは圧



って考え、幸せを願う奉仕の精神に関心を持っている青年のためのプログラムです。RYLAは、ロータリー青少年奉仕活動の中の中心的役割を担っています。

高木次期青少年交換委員長からは、青少年交換プログラムは

1. 学生（派遣・受入）
2. ホストクラブ
3. ホストファミリー
4. 高等学校
5. 青少年交換委員

で構成され、16歳以上18歳未満の高校生を対象に一年間の長期留学するものです。このロータリー青少年交換プログラムが、多くの国の学生にとって人生のかけがえのない体験を得られるすばらしいプログラムであるが、「ホストファミリー不足している」という重大な問題をかかえています。「ホストファミリーバンク登録」にご理解とご協力をお願いしたいとのことです。

神戸次期危機管理委員長からは、ロータリーの奉仕活動で様々なリスクを想定し見える化すること、これが危機管理になるということでした。

今回第7分科会に参加させていただき、今まで青少年奉仕委員会がロータリーの中でどんな活動をしているかよく分かりませんでした。この研修を通じて青少年奉仕の各委員会の活動が少し理解出来たことが自分にとってすばらしい研修となりました。

第8分科会 山田尊久君



本会議での服部良男ガバナ一の挨拶で、今日の研修では、自分達が何をしていたらよいかを考えるきっかけにしてほしい、と話されたのが印象的でありました。第8分科会

の米山記念奨学部門では、「未来へ向かって、世界平和への架け橋となろう」というテーマで話がすすみました。寄付増進について、奨学生の選考について、世話クラブの役割について、具体的に話を聞きました。その中で私自身興味を持って聞きましたのは、奨学生の選考についてであります。寄付額のトータルによって、何人奨学生を採用するかが決まってきます。今年は49名を選んだとのことでした。

選考の方法は指定校制度をもうけており、学校より優秀な学生を推薦して頂いて、面接によってきめているそうです。その面接では、日本語をしっかりと話せる人、そして大切なことは、将来日本との架け橋になっていただける人かどうかをよく吟味して、選考しているとのことでした。今年は1月に123名応募があり、1日で8テーブルに分かれて24名の面接官で48名の奨学生を決め、海外枠で1名選出したとのことでした。面接する側の人数が足りないのは是非、米山記念奨学会の地区委員となっていたらいいとの要望もありました。

第9分科会 篠田耕伸君



開催日2017年4月22日
(土)、会場ウェスティンナゴヤキャッスルホテルにて、ホストクラブー宮北ロータリークラブで、国際ロータリー第2760地区2017～18年度地

区研修・協議会が開催されました。2017～18年度地区方針は、「今日からのロータリーを楽しもう」です。午後1時より、本会議があり、2時50分より、分科会が100分間あり、もう一度本会議で、解散しました。私の担当は、第9分科会で、入会3年未満の新会員枠での参加でした。

1. ロータリー、その始まりは会員同士の親睦（クラブ奉仕）と、自らの職業のレベルアップを目指しながら地域社会で役に立つよう研鑽努力（職業奉仕）することが目的ですが、まずは、簡単に言うと、「ロータリーをもっと知って楽しもう」です。ロータリーの会員の75%が、10年以下の人で、ロータリーを脱会した人の90%が、5年未満の人とのことです。「皆さんも私と一緒に、縁と義理と繋がりで入会されたと思いますが、入会して3年くらいは、やめたくてしょうがない時がありました」「もっとロータリーを知って、自分なりの楽しみを見つけて、ロータリーとともに、歩まれることを、希望します」。今回、初めてできた第9分科会だと言うことですが、参加して、良かったと思います。

